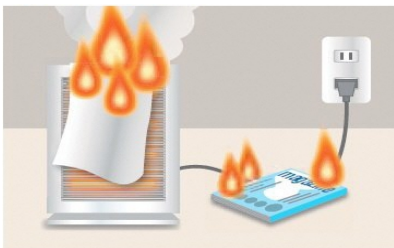


感震ブレーカー説明会 開催のお知らせ

- 開催日時 : 令和5年8月6日(日)
10:00 ~ 12:00
- 開催場所 : 市営小和田住宅外複合施設 1F 会議室
- 主催 : 市都市政策課との共同主催
- 説明方法 : 感震ブレーカーの数種類を実物展示
DVD 視聴や電気盤パネルも展示
個別のご相談も受付します
- 費用 : 参加費無料
- 注意事項 : 個別相談には自宅電気盤の写真有りが便利。



復電後、電気製品に落下した可燃物から発火！



地震による家具転倒や落下で傷ついた電気コードに通電し、発火！

ご存じですか？
地震による火災の過半数は
電気が原因という事実。

東日本大震災における本震による火災全 111 件のうち、原因が特定されたものが 108 件。そのうち 58 件の過半数が電気関係の出火でした。

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧した時に発生する火災のことです。

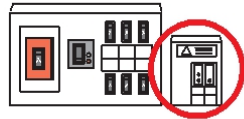
電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

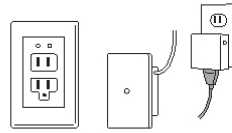
主な感震ブレーカーの種類



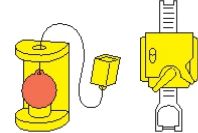
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

感震ブレーカーは、延焼危険性や避難困難度が特に高い「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域^(※1)」及び「防火地域・準防火地域^(※2)」において、緊急的・重点的な普及促進が必要とされています。

**地震の時、自動で電気を遮断できる
「感震ブレーカー」をつけましょう**

●展示商品の一例

前回の人気
No.1

疑似漏電タイプ
人気 No.1

機器名	ヤモリ	震太郎
画像		
特徴	<p>地震を感知直後にバネの力でブレーカーを作動させ、電気を遮断。 本体を分電盤に直接両面テープで設置。 蓋つきの分電盤に設置した場合は、蓋が閉まらない可能性がある。 最も安価な機器。</p>	<p>地震を感知後3分後に疑似漏電により漏電ブレーカーを作動させ、電気を遮断。 漏電ブレーカーがない場合は適用不可。 コンセント(アース又は3端子付)に取り付ける。</p>

その他、いろいろなタイプの商品を展示致します。どうぞ説明をお聞きになり実物をご確認下さい。

作成 : 菱沼小和田自治会
防災リーダー会